

各業界からお問い合わせ急増中!



aiwa bandで
現場の暑熱リスクを

見える化



WBGT28以上 = 制度の基準 = aiwa band暑熱リスク検知基準

※画像は一例です。



建設現場

☑ 高所作業や屋外作業中の暑さの負荷を見える化



農業

☑ ひとり作業が多いからこそ気づきにくいリスクを見える化



陸上貨物運送業

☑ 荷積み・荷降ろしの倉庫や車内など潜むリスクを見える化



警備業

☑ 日なたに立ち続ける警備中のリスクを見える化



工場・倉庫

☑ 高温機器や密閉空間の作業環境意外なリスクを見える化



医療・福祉施設

☑ 利用者にも職員にも暑熱リスクの変化を見える化

製品仕様

型番	JA3-SMB0001
JAN	4595985095012
ディスプレイ	1.64インチ AMOLED(有機EL)
解像度	240 × 456px、326PPI
最大輝度	450cd/m ²
Bluetooth	Bluetooth 5.2
スポーツモード	100種以上
パイプ機能	対応
素材	ディスプレイカバー:指紋防止コーティング強化ガラス ボディ:ポリカーボネート バンド:シリコン
防塵防水性能	IP67
アプリ対応OS	iOS10以上、Andorid 5.1以上
バッテリー	内蔵式リチウムポリマー充電電池 200mAh
充電時間	約1.5時間
充電方法	マグネット式充電
待機時間	通常時:最大約14日間、ヘビーユース時:最大約6日間、暑熱リスク検出機能ON時:数時間~約1日
サイズ	46.3 × 31.6 × 12mm(本体のみ)
重量	ベルト含む:約35g、本体のみ:約18g
使用温度	-10℃~45℃

各部名称/インターフェース



※暑熱リスク検出はミツツジ株式会社が開発した、運動中の心拍情報から深部体温上昇変化を推定するアルゴリズム(*1)を採用しています。※本製品の暑熱リスク検出機能は、注意表示や振動により、使用者へ休息や水分補給を促すことを目的としています。※本製品は脈波から深部体温(*2)の上昇の変化を推定する機器であり、体温を測定する機器ではありません。※本製品は医療機器ではありません。※暑熱リスク検出には心拍センサーを使用します。暑熱リスク検出機能をオンにした場合、「心拍数」測定機能や「血中酸素濃度」測定機能、各種エクササイズ測定機能などが使用できなくなります。※暑熱リスク検出機能をオンにすると、通常よりもバッテリー消費が早くなります。(設定により数時間~約1日) ※ウォッチフェイスによっては暑熱リスクは画面に表示されません。※本製品で測定したデータは医療目的に使用されることを意図していません。本製品または本製品で使用するアプリケーションは、疾病の兆候の検出や、診断、治療、予防を目的とするものではありません。※使用可能時間・充電時間は使用状況や環境により変化する場合があります。※すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。※iOSは、Apple Inc.のOS名称です。iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標です。※AndroidはGoogle LLCの商標です。※aiwaおよびaiwaロゴはアイワ株式会社の登録商標です。※そのほか、記載の会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。※画像はイメージです。(*1)特許 7175473 (*2)深部体温とは、脳や臓器などの体の内部の温度のことを言います。